



広報 4月 ひまわり

令和5年4月発行
栃木県小山警察署 野木交番
0280-56-1703

◇ 春の行楽期における山岳遭難の防止について ◇

春は、山の空気や緑がさわやかで登山者が多くなる季節です。また、山岳遭難が絶えない季節でもあります。特に連休期間中は、全国的に山岳遭難が多発する傾向にあり、栃木県では過去5年間で7件発生し、10人が遭難しています。暖かな春とは言え、山頂は気温が低く、強風が吹き、雪が残るなど厳しい環境もありますので、登山計画や装備が不十分だと命に関わる場合もあります。

そこで、山岳遭難の発生状況や安全に登山を楽しむためのポイントなどを紹介します。



山で遭難しないために

★登山する前に・・・

- 事前に登山ルートを確認して、各自の経験、技術、体力などに応じた無理のない登山計画を立てましょう。
 - 単独登山は控え、複数で登山しましょう。
 - 登山計画書や登山カードを提出し、家族などにも登山コースや帰宅時間を教えておきましょう。
- 登山届受理システムの「コンパス」でも登山計画の届け出ができます。
- 日帰り登山でも、もしもの場合に備え、ライトや雨衣、非常食、地図などを準備し、携帯電話などの通信手段を必ず携行しましょう。



コンパス



★登山中は・・・

- 悪天候時や体調不良の場合は、無理をせず勇気をもって引き返しましょう。
- 日帰り登山では、目的地に着かなくても、日暮れまでに下山しましょう。

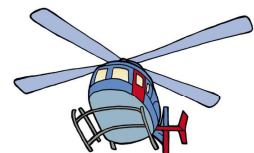
★登山中は・・・

- 悪天候時や体調不良の場合は、無理をせず勇気をもって引き返しましょう。
- 日帰り登山では、目的地に着かなくても、日暮れまでに下山しましょう。

山で遭難した場合には

★道に迷った場合は・・・

- 道に迷ったら、先に進まず、位置が分かるところまで引き返しましょう。
- 戻れない場合は、むやみに動かず、尾根に出て救助を待ちましょう。



★救助要請する場合は・・・

- 携帯電話や無線機などで救助要請する場合は、電波が届く場所を探して通報してください。
- なお、電池の消費を抑えるため、救助要請とは無関係な通信は控えましょう。
- 救助のヘリコプターの音が聞こえたら、上空を見通せる広い場所に出て、目立つ色の衣類などを振って合図しましょう。

